

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：SequaGel Sequencing System
製品番号：EC-833（メーカー略号: NDS）
構成品名：UreaGel Concentrate
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性(経口): 区分 4

急性毒性(経皮): 区分 4

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 2

皮膚感作性: 区分 1

生殖細胞変異原性: 区分 1B

発がん性: 区分 1B

生殖毒性: 区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(神経系)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 2(生殖器(男性))

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(血液系、生殖器(男性)、神経系、眼)

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害

強い眼刺激

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

遺伝性疾患のおそれ

発がんのおそれ

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害(神経系)

臓器の障害のおそれ(生殖器(男性))

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(血液系、生殖器(男性)、神経系、眼)

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
口をすすぐこと。
飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

特定の健康有害性

いかなる経路(眼・皮膚、吸入、摂取)でもこの物質と接触すると、神経系に影響を与える可能性がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

慣用名又は別名：2-プロペンアミド(アクリルアミド); Bis-acrylamide; BAC(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
アクリルアミド	24	79-06-1	2-1014
N,N'-メチレンビスアクリルアミド	1.3	110-26-9	2-1020

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法「劇物」該当成分

アクリルアミド

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

アクリルアミド

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

アクリルアミド

化管法「第1種指定化学物質」該当成分

アクリルアミド

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。
医療従事者の指示に従って、直ちに嘔吐させる。
直ちに医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

医師に対する特別な注意事項

毒性・発がん性・皮膚浸透性・変異原性を有する製品。触れた物質を完全に洗い流す必要がある。
医師に暴露物質名、防護のための注意を通知する。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法

消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

汚染箇所を大量の水で完全に浄化する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

(注意事項)

吸入や接触により皮膚や眼に刺激や炎症を起こすおそれがある。

安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

保管

安全な保管条件

施設して保管すること。常温で保存すること。光を避けること。
飲食物、動物用飼料、混触危険物質から離して保管する。
容器を密閉して乾燥した涼しく換気の良い場所に保管すること。物理的衝撃から保護すること。

安全な容器包装材料

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度及び濃度基準値

(アクリルアミド)

作業環境評価基準 0.1mg/m³

許容濃度

日本産衛学会

(アクリルアミド)

0.1mg/m³ (皮)

ACGIH

(アクリルアミド)

TWA: 0.03mg/m³(IFV) (中枢神経系及び末梢神経系障害; がん)

特記事項

(アクリルアミド)

皮膚吸収; 皮膚感作性

ばく露防止

設備対策

洗眼設備・安全シャワーを設けること。
密閉された装置、局所排気装置を使用する。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。(防毒マスク)

手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

不浸透性、長袖の保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：無臭

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし

引火点：データなし

自然発火点：データなし

分解温度：データなし

pH：中性

動粘性率：データなし

蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

酸素の非存在下、熱・光・圧力への暴露、酸・塩基・酸化性材料・開始剤・還元剤の存在下で激しい重合にさらされる可能性がある。

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

酸、酸化性物質、塩基、還元性物質と反応する。

避けるべき条件

熱、衝撃、紫外線

混触危険物質

酸、酸化性物質、塩基、ビニル重合開始剤、アルミニウム、鉄、銅、真鍮、青銅

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物、アンモニア、水素

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

区分 4, 飲み込むと有害

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

ラット LD50: 124 mg/kg (出典: NITE)

(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

雌ラット LD50: 50 - 300 mg/kg (OECD TG 423, GLP) (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[製品]

区分 4, 皮膚に接触すると有害

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

ラット LD50: 252 mg/kg (出典: NITE)

労働基準法: 疾病化学物質

アクリルアミド

局所効果

皮膚腐食性/刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

区分 2, 強い眼刺激

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

区分 2A (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

[製品]

区分 1, アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

区分 1 (出典: NITE)

生殖細胞変異原性

[製品]

区分 1B, 遺伝性疾患のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

区分 1B (出典: NITE)

(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

区分 1B (出典: NITE)

発がん性

[製品]

区分 1B, 発がんのおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

区分 1B (出典: NITE)

[IARC]

(アクリルアミド)

Group 2A : ヒトに対しておそらく発がん性がある

[ACGIH]

(アクリルアミド)

A2: ヒト発がん性の疑いがある

[日本産衛学会]

(アクリルアミド)

第2群A: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]

(アクリルアミド)

Category 1B; ヒトに対しておそらく発がん性がある物質

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

区分 1B (出典: NITE)

(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

区分 1B (出典: NITE)

催奇形性：データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 2, 臓器の障害のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

区分 1 (神経系) (出典: NITE)

(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

区分 1 (生殖器 (男性)、神経系) (出典: NITE)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

区分 1 (血液系、生殖器 (男性)、神経系、眼) (出典: NITE)

誤えん有害性 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) 72時間 EC50 (生長阻害): 33.8 mg/L (出典: NITE)

(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

藻類 (ムレミカヅキモ) 72時間 EC50: > 100 mg/L (72時間 NOErC = 100 mg/Lより専門家判断) (出典: NITE)

甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 EC50: > 100 mg/L (48時間IC0 = 100 mg/Lより専門家判断) (出典: NITE)

魚類 (メダカ) 96時間 LC50: 240 mg/L (出典: NITE)

水生環境有害性 長期(慢性)

[NITE-CHRIP]

(アクリルアミド)

甲殻類 (アミ) 28日間 NOEC (生存率): 2.04 mg/L (出典: NITE)

藻類 (*Pseudokirchneriella subcapitata*) 72時間 NOEC (生長阻害): 16 mg/L (出典: NITE)

(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

藻類 (ムレミカヅキモ) 72時間 NOErC: 100 mg/L (出典: NITE)

水溶解度

(アクリルアミド)

204 g/100 mL (25°C) (出典: ICSC, 2013)

(N,N'-メチレンビスアクリルアミド)

難水溶性でない (34100 mg/L) (出典: NITE)

残留性・分解性

[成分データ]

(アクリルアミド)

急速分解性あり (分解度: 70% (by BOD)) (出典: NITE)

生体蓄積性

[成分データ]

(アクリルアミド)

log Pow: -0.67 (出典: NITE)

土壤中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

容器の再使用、リサイクルは不可。製品入り容器と同様に処分する。

地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号またはID番号：3426

品名(国連輸送名)：アクリルアミド溶液

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：6.1

容器等級：III

指針番号：153P

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Y類) アクリルアミド

国内規制がある場合の規制情報

毒劇法、消防法の規定に従う。

船舶安全法：毒物類 毒物 分類6 区分6.1

航空法：毒物類 毒物 分類6 区分6.1

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法

劇物(令第2条)

アクリルアミド(24%)(法令番号 1の3)

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特定第2類

アクリルアミド

名称等を表示すべき危険/有害物

アクリルアミド(規則別表第2の3)

名称等を通知すべき危険/有害物

アクリルアミド(規則別表第2の3)

がん原性がある物(規則第577条の2第5項)

アクリルアミド

変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]

アクリルアミド; N,N'-メチレンビスアクリルアミド

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質

アクリルアミド(24%)[アクリルアミド(24%)]

消防法

届出を要する消防活動阻害物質

危険物の規制に関する政令別表第2: 劇物(数量 200kg)

アクリルアミド

化審法

優先評価化学物質

アクリルアミド(通し番号34 人健康影響)

大気汚染防止法

有害大気汚染物質に該当する可能性のある物質

アクリルアミド

水質汚濁防止法

指定物質

アクリルアミド

法令番号 9

16. その他の情報

参考文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 23rd edit., 2023 UN
IMDG Code, 2024 Edition (Incorporating Amendment 42-24)
IATA 航空危険物規則書 第66版 (2025年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2024 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：SequaGel Sequencing System
製品番号：EC-833（メーカー略号：NDS）
構成品名：UreaGel Buffer
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分 2（消化管、中枢神経系）

（注）記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ（消化管、中枢神経系）

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
尿素	50	57-13-6	2-1732
ホウ酸	5.5	10043-35-3	1-63

Tris-Base	20	77-86-1	2-318
-----------	----	---------	-------

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」該当成分

ホウ酸

労働安全衛生法「通知すべき有害物」該当成分

ホウ酸

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

応急措置をする者の保護

救助者は保護手袋と密閉ゴーグル、防毒マスクを着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

皮膚や眼との接触を避けること。

安全取扱注意事項

- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

接触回避

- 「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

保管**安全な保管条件**

- 施錠して保管すること。常温で保存すること。
- 容器を密閉して、涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

- 本製品に使用されている容器内で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置**管理濃度及び濃度基準値**

- 設定されていない

許容濃度**ACGIH**

- (ホウ酸)

TWA: 2mg/m³(I); STEL: 6mg/m³(I) (上気道刺激)

ばく露防止**設備対策**

- 適切な換気のある場所で取扱う。
- 洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具**呼吸用保護具**

- 呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

- 保護手袋を着用する。

眼の保護具

- 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

- 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質**物理状態：液体****色：無色透明****臭い：無臭****沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし****可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし****爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし****引火点：データなし****自然発火点：データなし****分解温度：データなし****pH：8.3****動粘性率：データなし****蒸気圧：データなし****密度及び/又は相対密度：データなし****相対ガス密度(空気=1)：データなし**

粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常の手扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。

避けるべき条件

直射日光、熱

混触危険物質

強酸化性物質、酸、塩基、金属、次亜塩素酸カルシウム、次亜塩素酸ナトリウム

危険有害な分解生成物

炭素酸化物、窒素酸化物、アンモニア、無水ホウ酸

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(ホウ酸)

ラット LD50: 2660 - 5140 mg/kg (出典: NITE)

急性毒性(経皮)

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(ホウ酸)

ラット LD50: > 2000 mg/kg (出典: NITE)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(ホウ酸)

区分 2 (出典: NITE)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(ホウ酸)

区分 2 (出典: NITE)

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性

[成分データ]

[ACGIH]

(ホウ酸)

A4: ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性

[製品]

区分 1B, 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

[成分データ]

[NITE-CHRIP]

(ホウ酸)

区分 1B (出典: NITE)
催奇形性：データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)
[製品]
区分 2, 臓器の障害のおそれ
[成分データ]
[NITE-CHRIP]
(ホウ酸)
区分 1 (消化管、中枢神経系), 区分 3 (気道刺激性) (出典: NITE)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし
誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性
水生環境有害性
[成分データ]
水生環境有害性 短期(急性)
[NITE-CHRIP]
(ホウ酸)
藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) 72時間 ErC50: 290 mg/L (出典: NITE)
甲殻類 (オオミジンコ) 48時間 LC50: 133 mg/L (出典: NITE)
魚類 (ギンザケ) 96時間 LC50: 447 mg/L (出典: NITE)
水生環境有害性 長期(慢性)
[NITE-CHRIP]
(ホウ酸)
魚類 (ニジマス) 87日間 NOEC: 2.1 mg/L (出典: NITE)
水溶解度
(尿素)
混和する (出典: ICSC, 1997)
(ホウ酸)
5.6 g/100 mL (20°C) (出典: ICSC, 2014)
残留性・分解性：データなし
生体蓄積性
[成分データ]
(尿素)
log Pow: -3.00 - -1.54 (出典: ICSC, 1997)
(ホウ酸)
log Pow: -1.09 (出典: ICSC, 2014)
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
製品入り容器と同様に処分する。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Z類) 尿素

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険/有害物

ホウ酸(規則別表第2の1948)

名称等を通知すべき危険/有害物

ホウ酸(規則別表第2の1948)

化学物質管理促進(PRTR)法：非該当

消防法：非該当

化審法：非該当

大気汚染防止法

有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質

ホウ酸

土壤汚染対策法

第二種特定有害物質 重金属等

ホウ酸

政令番号24:

含有量 <= 4000 mg/kg

溶出量 <= 1 mg/liter

第二溶出量 <= 30 mg/liter

地下水 <= 1 mg/liter

土壤環境 <= 1 mg/liter

水質汚濁防止法

有害物質

ホウ酸

法令番号 24: 海域以外 10mg-B/liter, 海域 230mg-B/liter

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

2025 TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

Supplier's data/information

ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名称：SequaGel Sequencing System
製品番号：EC-833（メーカー略号: NDS）
構成品名：UreaGel Diluent
会社名：コスモ・バイオ株式会社
住所：東京都江東区東陽二丁目2番20号
担当部署：製品法務部
電話番号：03-5632-9610 FAX：03-5632-9619
e-mail address：mail@cosmobio.co.jp
推奨用途及び使用上の制限：試験研究用試薬

2. 危険有害性の要約

GHS分類

（注）記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素

絵表示なし

注意喚起語なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS RN®	化審法番号
尿素	50	57-13-6	2-1732

注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

毒物及び劇物取締法、労働安全衛生法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚を多量の水と石けんで洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。意識のない者には何も口から与えてはならない。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

データなし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火を行う者の保護

消火作業の際は、自給式呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置**人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置**

回収が終わるまで十分な換気を行う。

適切な保護具を着用する。

眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。

環境に対する注意事項

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意**取扱い****技術的対策**

(取扱者のばく露防止)

皮膚や眼との接触や吸入を避けること。

安全取扱注意事項

取扱い後は手、汚染個所をよく洗う。

接触回避

「10. 安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

保管**安全な保管条件**

常温で保存すること。容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

安全な容器包装材料

データなし

8. ばく露防止及び保護措置**管理濃度及び濃度基準値**

設定されていない

許容濃度

設定されていない

ばく露防止**設備対策**

適切な換気のある場所で取扱う。

洗眼設備・安全シャワーを設けること。

保護具**呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。

眼の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：液体
色：無色透明
臭い：無臭
沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし
可燃性(ガス、液体及び固体)：データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：データなし
引火点：データなし
自然発火点：データなし
分解温度：データなし
pH：中性
動粘性率：データなし
蒸気圧：データなし
密度及び/又は相対密度：データなし
相対ガス密度(空気=1)：データなし
粒子特性：該当なし

10. 安定性及び反応性

反応性
データなし
化学的安定性
通常の取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性
通常使用の条件下では危険な反応は知られていない。
避けるべき条件
直射日光、熱
混触危険物質
強酸化性物質、強塩基、強酸、次亜塩素酸カルシウム、次亜塩素酸ナトリウム
危険有害な分解生成物
炭素酸化物、窒素酸化物、アンモニア

11. 有害性情報

急性毒性：データなし
局所効果
皮膚腐食性/刺激性：データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし
生殖細胞変異原性：データなし
発がん性：データなし
催奇形性：データなし
生殖毒性：データなし
特定標的臓器毒性
特定標的臓器毒性(単回ばく露)：データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)：データなし
誤えん有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし
水溶解度
(尿素)

混和する（出典: ICSC, 1997）
残留性・分解性：データなし
生体蓄積性
[成分データ]
(尿素)
log Pow: -3.00 - -1.54 (出典: ICSC, 1997)
土壌中の移動性：データなし
オゾン層への有害性：データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装
製品入り容器と同様に処分する。
地方/国の規則に従って安全に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類：非該当

注意事項 輸送に際しては、直射日光を避け、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質
有害液体物質(Z類) 尿素

国内規制がある場合の規制情報：非該当

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法：非該当
労働安全衛生法：非該当
化学物質管理促進(PRTR)法：非該当
消防法：非該当
化審法：非該当

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
Supplier's data/information
ICSC 国際化学物質安全性カード

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。